

## 剛健

## 伊香高等学校

伊香高等学校の部旗には「剛健」の文字が書かれています。

「剛」という字を『大漢語林』（大修館）で調べますと「岡は強に通じ、剛は強い刀を意味し、“つよい”という意味を表す」とあり、同じ辞書で「健」を調べると「建はのびやかな筆を意味し、人偏と組み合わせてのびやかな人のさま、つまり“すこやか”という意味を表す」とあります。一方、易経に「大哉乾乎 剛健中正 純粹精也」つまり「晴れわたった天を示す〈乾〉という言葉は素晴らしい、強く健やかで偏りが無く、混じりけが無く澄みきっている」という意味の文章が出てきます。また、「質実剛健」（飾りけがなく誠実で強く健やか）という熟語もあります。

伊香高校の前身伊香農業補修学校は伊香郡三万人の力によって明治29年に創設され、大正11年に県立農学校に移管される時には、郡民老若男女二万人以上が労働奉仕して校地を整えたという郷土の願いや期待によって育まれてきた学校です。そこで学ぶ生徒たちもその願いに応えるべく、黙々と力強く学んでいました。戦後の伊香高等学校となっても、その気風は「質実剛健」という言葉で語り継がれてきたと聞き及んでいます。（この郡民の心を称えた「三萬一心」という言葉は今も大切にされています。）

伊香高校剣道部には昭和51年ごろに作った「剛」一文字の部旗もあるそうですが、平成8年頃に当時の顧問の先生が生徒たちと相談して、書道を教えておられた坂木茂昭先生に揮毫してもらい「剛健」の部旗を作ったと聞きおよびています。

「剛健」という言葉は、よく見る言葉ですが、調べてみると、この言葉自体に古い歴史があり、また、伊香高校の歴史を物語る大切な言葉であるということが分かりました。